

南あわじ市及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会

合同定例会会議録

1. 日 時 平成30年1月30日(火) 午前10時00分開会

2. 場 所 南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

3. 会議次第

開 会 午前10時00分

開議宣告

会議録署名委員の指名 轟委員(南あわじ市) 岡委員(学校組合)

前回会議録の承認

協議及び報告事項

閉議宣告

閉 会 午前11時10分

4. 会議の出席者

《南あわじ市》

(教育長) 浅井伸行

(教育委員) 宮崎典弘、轟 孝博、岡 一秀、數田久美子

《学校組合》

(教育長) 浅井伸行

(教育委員) 狩野時夫、岡 一秀、宮崎典弘、河上和慶

5. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 福原敬二、教育総務課長 山見嘉啓

学校教育課長 山川直樹、社会教育課長 福田龍八

教育総務課課長補佐 坂田真由美、教育総務課係長 新地美里

開 会 午前10時00分

【浅井教育長】 定足数に達しておりますので、ただいまから南あわじ市教育委員会及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を開会します。

【浅井教育長】 まず、「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員につきましては、会議規則第15条第2項の規定により、1名の委員を指名します。

南あわじ市教育委員会会議録署名委員につきましては、轟委員にお願いいたします。

南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会会議録署名委員につきましては、岡委員にお願いいたします。

【浅井教育長】 次に、「前回の会議録の承認」に移ります。

前回の会議録につきましては、事前に送付させていただいておりますので、前もって目を通していただいていると思いますが、何か訂正なりご意見がありますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

【浅井教育長】 ご意見がないようですので、前回の会議録については原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼び者あり)

【浅井教育長】 異議なしと認めます。

よって、前回の会議録は、原案のとおり承認することに決定しました。

【浅井教育長】 次に、「教育長報告」をさせていただきます。

お手元の資料をご覧ください。

まず、学校再編についての説明会ではありますが、1月16日火曜日に沼島小中学校、18日木曜日に西淡志知小学校、19日金曜日に西淡志知小学校、22日月曜日に倭文中学校ということで、夜に説明会を行いました。

説明会の概要については、前回の定例会で説明をさせてもらったとおりです。そんな中で、それぞれの学校の反応というのは、予想された反応であったかなと思います。いろんな意見もあり、課題もあるわけですが、教育委員会としての方向性みたいなものを引き続いて説明をさせていただきたいと思っております。

この件につきましては、後で山川課長の方からももう少し詳しい説明をさせていただきますので、その時にご意見等をいただければと思います。

そんな中で、1つ気になることは、どの会場に行っても前回は投げかけをして、うまくいかなかったと。その後、いったいどうなっていたのかと。しばらく間を置いてという形になるので、今まで何もせずにしたのかというふうな、もっと早く次の対応策みた

いなものを投げかけるべきではなかったのか、というふうな議論が1番最初にどの会場でも出てきました。これは、反省すべき点であると。もう少し情報の出し方とか、地域住民への接する説明会であるとか、もっと丁寧に開く必要があるのではないかというふうに感じました。その反省も踏まえまして、次回の説明会に臨みたいというふうに思っております。

2番目の「兵庫教育大学サテライト講座等について」でございますが、これは、管理職、ミドルリーダーを中心に、2月1日からいよいよスタートいたします。

兵庫教育大学の浅野先生に来ていただいて、スタートします。その絡みもありまして、サテライト講座を長期間によってコンスタントに講師を派遣していただいて進めるという観点で、どうしても兵庫教育大学との提携を結ぶ必要があるだろうというふうなことで、今進めておりますけれども、今日の午後、兵庫教育大学から2名の方に来ていただいて、協定を結ぶということで具体的に進めさせてもらったというふうには思っております。

3番目「平成30年度当初予算について」でありますけれども、2月19日に記者発表があるので、次回の定例会で詳しい説明をさせていただこうと思っておりますが、教育委員会が考えている取組については、ほとんど予算に入れてもらっているということで、非常に有難いと思っております。この兵庫教育大学のサテライト講座、人形浄瑠璃等を使った、郷土芸能を含めた表現活動に伴うコミュニケーション能力の向上、グループウェア、校務支援ソフトを中心としたネット教育センター、ALTを使った放課後の英語活動の充実等、こちらの提案させてもらったものすべてに入れていただいているということで感謝しております。

以上、簡単ですけれども教育長報告を終わらせていただきます。

**【浅井教育長】** ただいまの報告で何かご質問等がございましたらお願いします。

ないようですので、次に「協議及び報告事項」に移ります。

「協議及び報告事項」につきましては、お手元に資料をお配りしております。

まず、「小中学校再編説明会実施状況について」事務局より説明をお願いします。

**【山川課長】** それでは私の方から、再編説明会の状況について概略をご説明させていただきます。

お手元には、会の詳細につきまして詳しく会議録の方をお配りしていると思っておりますが、ポイントを絞って説明させていただきます。

まず、沼島中学校の再編等に係る説明会です。1月16日。参加者は、就学前・小学校・中学校の保護者等で27名の参加がありました。

主な意見としましては、集団的なスポーツができない。小中一貫という制度のイメージがわからない。ということがありつつ、全体的な印象としましては、肯定的に受け止めていただけていると感じました。ただ、それでもやはり南淡中学校に行って多人数の中で育てたいという方もいらっしゃいました。それから、沼島以外からも来てもらえるような手の内ということも考えているのか、ということも意見として出てきました。

今後ですが、次回に向けて小中一貫教育というものを沼島でどのように展開するのか

をわかりやすく提示する必要があるなど考えております。具体的には、現在、沼島では、特色ある教育が行われているのですが、それに更に英語教育とICT教育に特化したものを、ということですので、このあたりの説明を進めていこうと思っております。そして、小中一貫、小規模特認校制に向けての制度設計の準備も必要になってきます。

続きまして、西淡志知小学校の再編等に係る説明会です。

これは、1月18日に行いました。

これも就学前・小学校・中学校の保護者、地域づくり協議会、地区住民等に呼びかけで47名の出席。これ以外に議員さんと新聞記者も入っておりました。

この会では、「西淡志知保護者の会」というものが設置されたということで、代表の方から主に意見を述べられるという形を取られました。最初に実施したアンケート結果を公表されて、西淡志知小の統合に賛成42%、反対14%、どちらとも言えない44%。志知地区から学校がなくなることに、それでもよいという方が、15%、それは嫌だという人が62%、わからない22%。もし統合するならばということで、三原志知小が50%、松帆小学校が30%という結果であったという結果の報告がありました。

主張点としましては、「志知小学校合併協議会」というものを作ったので、松帆小学校との統合は受け入れられない。教育委員会に三原志知小と西淡志知小との合併に協力してほしい、ということを主張されて、全般的にそのトーンで進められました。

今後の課題ですが、主に代表の方が中心になって答弁されましたので、例えば松帆小と統合してもよいという方の意見とか、その他の意見が把握できていないということが、課題であると思っております。完全にこちらの主張とはずれている中で、「志知小学校合併協議会」というところの動きに対して、どのように説明をしていくのか、ということが課題となるかと思えます。

続きまして、三原志知小学校の再編等に係る説明会です。

これは、1月19日、金曜日に行われました。これも参加者が、52名ということで、それ以外に議員さんと新聞記者が来ていました。

こちらは、「三原志知に未来を考える会」というものを結成して、同じように代表の方が答弁されるというスタイルを取られていました。ことらも自主的にアンケートをされていて、統合に賛成が32%、反対が29%、どちらとも言えないが36%ということで、3分割の結果になっていました。志知地区から学校がなくなることについて、かまないという方が22%、反対が54%、わからないという方が20%。もし統合する場合ということで、西淡志知小が21%、市小学校が59%という結果が出ております。ですが、西淡志知地区と協議を進めて、双方の合意を得て前向きに検討している協議会に教育委員会も参画してほしい。西淡志知地区と同じようなトーンで主張をされました。

また、三原志知地区については、23年度当時の話もかなり強く出されて、特に地区の方からの反対意見が強く出されました。

課題については、西淡志知地区の課題と同じようなことになるかと思うのですが、どちらの地区も合併するということには、概ね賛成ということで、進めていくことができるかなと考えています。

最後に、倭文中学校の再編等に係る説明会です。

これは1月22日。参加者は33名でした。

このときには、1番最初に発言された方が、過去の23年度のときの話でかなり長い間、意見といたしますか、反論をされました。その対応でかなり時間を使って、実は、合同部活動の是非というところで、かなり具体的な保護者の意見が聞けなかったのかなというところが反省点ですが、部活動の問題は、前の時にも出てきていたのに、その時に何もやっていないという主張が1つ。それ以外には、三原中にもテニス部があるが、倭文中のテニス部はなくなるのか。広田中の部活動をしたいという場合はどうなるのか、という意見が最後の方にありました。

今後ですが、具体的な合同部活動での課題というものを洗い出して、倭文中と三原中と摺合せをして、実施方法を検討していく必要があると考えています。それから、この中に出てきたのですが、校区外就学の制度を見直した方がいいような感じも持っております。

全体を総合しまして、再編計画の今後ですが、次回の説明会を早いうちに行わないと、先ほど教育長からもありましたように、住民の方にはもっと情報を出してほしいという要望が強いので、できるだけ早い段階で第2回目を行いたいと考えております。そして、再編計画全体のタイムスケジュールのようなものを作って対応していかないと、予算を組んでいく必要もありますので、このあたりが今後の課題になってくると考えております。

以上、概略を説明させていただきました。

**【浅井教育長】** 補足になりますけれども、前回に説明をさせてもらったように、沼島中学校と倭文中学校については、「当面」という表現を使いました。このような方策を取っても、より子どもたちにとって教育する環境がよくならなかったというときには、その次のステップを考えさせてもらう、という説明をさせてもらったのと、地元が子どもたちの教育に協力をしてほしいと。そういうふうなことを説明しながら、今、山川課長の方から説明があったようなことをお話させてもらいました。

これについては、意見をお聴きしたいなと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

**【岡委員】** この話し合いの中で、志知同士のどちらへ統合するというような話は出てこなかったのですか。

**【山川課長】** それも話し合いはされているようなのですが、そこはやはり迷っている、判断がつかないので、三原志知の方での説明会の時にでたのは、最終的にどちらの方の校舎を使うのがいいのかというのを、第三者に判断してもらおうということが可能なのかどうか、というような意見も出ました。それは校舎の耐久性であるとか、そういうところを見てもらって、判断をもらったら、それが参考になるというような考えのようです。

**【浅井教育長】** 教育委員会が、その第三者的な立場になってどちらがいいかということをおアドバイスもりたいというのが趣旨であって、それはできないというふうに回答しました。教育委員会が進める方向と違うので、教育委員会がどちらがいいというふうな観点でアドバイス等はできないということで、お話させてもらいました。

【岡委員】 中学校の問題は、どんなふうな反応でしたか。

【山川課長】 その場では、中学校の話は出てないです。たぶん、お互いの合併協議会の中では出ているのだと思うのですが、その場でそこまでの込み入った話は出ていないので、実際にそちらの方に進む場合は、そうしたら中学校はどうしますか、というところは、大きな課題になると思います。

【岡委員】 西淡志知地区の方を見たら、西淡中学校が70%になっていますよね。三原志知地区の方は、中学校のことについては書いていないのですが、統合するならばどちらへと聞かれたら、小学校が統合するならば、市小学校がよいが59%となって、非常に多いので、やはり三原中学校へ流れていくと考えられます。これが非常に大きな問題、1番大きな問題だと思います。

【福原教育次長】 その問題につきましては、平成24年のそれぞれの説明会に行った時、それから28年に各地区に意見の徴収に行った時に、その2つが最終的に大きなネックになっているのは間違いないと思います。ですから、合併協議会というか、その保護者の中でその部分をどう詰めていくか、というのでたぶん苦勞するのかなという感じはしています。

【岡委員】 志知同士いっしょになったとして、6年生までいっしょに行って、中学校でまた別れるというような、子どものことを考えているのかなと。子どもが、そこまでいっしょにいて、中学校で別々になるというのは、結構子どもにとっていいことではないと思います。

【浅井教育長】 そちら辺のことは、次回の説明会に行った時に、教育委員会の方から丁寧に説明をする予定で準備をしています。

今回の説明会は、大きな方針を説明させてもらうということで、説明させてもらって、地元からのいろんな意見を聞いたりというふうなところで終わっていますので、その他もろもろの課題というのはありますけれども、それについての説明までは至ってないと。次回からの話かなと思っております。

【岡委員】 両方とも話をしていたら長引いてくる問題であると思います。どちらに行くということだけでも相当もめると思うし、中学校をどうするというのも、ものすごくもめる話でしょうし。そうなったら子どもが置き去りにされた話し合いになったら、いけないのではないかというふうな思いがあります。

【狩野委員】 さっき1回目の説明会であったので、これを受けて相当いろんなことを考えていけないといけないと思います。中学校はどうなるのかとか、果たしてその後どうなるのだろうかとか、いろんな問題があると思います。

この前、NHKのテレビで30年後には公立の小中学校が3分の1になるとかという

ショッキングなニュースが流れていました。淡路もいっしょではないかと。私自身、淡路の学校現場をずっと回っています。昨日、南あわじ市ではないのですが、1対1の学級を見たり、大人数の学級を見たり、いろいろ見ているのですが、それぞれメリット、デメリット、あると思うのです。少人数だったら、きめ細やかな指導もできるし、丁寧やし。でもその時はいいですが、果たして高校、社会に出た時に、生きていく力が育っているのかな、と思ったら、どうかなと。素地づくりの段階なので、やっぱり新聞にも出ていたのですが、新学習指導要領では、主語は子どもなのです。子どもが対話したり、いろいろ学び合ったりすることがすごく求められているのにもかかわらず、少人数ではそれは非常に難しいと思うのです。やはりそこらへんは、子ども中心に考えると、友だち同士けんかしたりしながら育っていくのかなと。多数の中で、育った方が私はいいのではないかと考えます。長い目で考えてもらえたらと思います。

【宮崎委員】 今回説明会をした中で、前回の説明会をしたときと今回したときも、必ずとっていいほど、出した方向性に対して反対の意見が必ず出るなど。どうしてもその時の会議になったら、反対する人の意見がその場の会で大きくなってきますよね。その場には、違う意見を持っている人はいると思うのですが、なかなかそこで発言をしにくかったりして、どちらにしてもメリット、デメリットがあって、賛成、反対があると思うのですが、次に説明会をするにあたっては、その場で出にくいかわかりませんが、賛成と反対の意見を同等くらいまで出せるような会になって、そこで保護者や地域の方からも意見がでたら、なおいいのではないかと思います。

【數田委員】 たまたま地元の方と話す機会があって、返事に困ったことがあったのですが、これから学校に行こうという年齢の保護者の方なのですが、結局、よくわからないというのです。具体的に、説明会でも意見があったようですが、なかなか具体的なイメージがわからないと。だから、どう判断していいのかわからないと。ある意味、もう少しメリットとかデメリットを具体的に示していくことが必要ではないかと思えます。

小規模校の良さもわかるし、三原志知小の取組なんかは、本当に地域といっしょになって素晴らしいと思うのですが、逆に前にも何回か言ったことがあるのですが、小規模校から高校に行ったときに、大規模校の中でなかなか馴染めなくて、引きこもり気味になって学校を去ったとか、ということも結構見してきました。小さいときからいろんな人と接したり、対話する中で、どう対応するかという学ぶ機会がいっぱいあるのではないかと思ったりします。大勢の中で揉まれて成長することが大切だと思います。一気に高校に来たときに、1つの例としてそういうことが多いので、早いうちに大勢の中で学習することが必要であると考えます。地域の人たちもまだまだ声の大きい人にその場では、実際に反論することが難しいと思うので、次回はもっと具体的なことを示していったらいいと思います。

【浅井教育長】 今の出していただいた意見で集約されるのですよね。

【狩野委員】 本当に西淡志知小学校も三原志知小学校も、今すごく関係がいいと、私は感

じているのです。大きな市の中でいいと感じているので、その保護者や地域の人の意見は、ようやってくれているんだ、と。関係性がすごくいいときの提案だったので、「惜しいな」というふうに誰もが思うと思うのですけれども、そこらへんは、メリットを活かしつつしているのかなと思います。でも長い目で見たら、どうかなといつも思います。

【浅井教育長】 説明をさせてもらうときに、なかなか議論の観点がかみ合わないというか、見えてこないというか、多いというか、そこらへんの整理をしながら議論をしていきたいと思っておりますので、こちらとしては、議論の観点は、唯一子どもにとって何がよい教育環境なのかということの1点に絞って議論をさせてほしい、という切り出しで話をさせてもらいます。

ただ、そういった形の中で説明をさせてもらったのですが、やはり地元に残したいという親や地元の方が多という中で、なかなか議論がかみ合わなくなると。子どもたちにとって何がよいのかという点に関して、教育委員会がどんな形がいいのかという説明もさせてもらったのですが、親や地域が考える子どもたちにとって何がよいのかというところも、ちょっとずれていると。

そんな中で、少し議論がかみ合わなかった部分もあるのですが、粘り強くそういうふうなことも説明させてもらう中で、少しずつ議論をしていこうと思っております。

貴重な意見をどうもありがとうございました。

【浅井教育長】 それでは、次に、「平成30年度南あわじ市に教育方針について」、事務局よりお願いします。

【山川課長】 （「平成30年度南あわじ市教育方針」の案について説明）

【浅井教育長】 この件につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。

【河上委員】 この表紙の市の総合計画の柱の1つである「ひかり輝く人づくり」により。ここは「により」で、振興計画では「基づき」。上は「基づき」で、下は「則り」の方が文脈がいいように思うのですが。

それから、中ほどに、ここだけ「取り組んでいきます。」になっているのですね。あとは、「取り組みます。」「推進します。」になっているのです。形態を揃えた方がいいのではないかと思います。

昨年もちよっと思ったのですが、理念と個々の事業、理念を具現化するための答えの事業が混在したような表紙になっているのです。最近ずっと。前々はそうでなかった。理念と大きな考えだけが出ていた。事業は別に出していたと思います。それがちょっとひっかかります。

そのためにおかしくなっているのは、学校教育でいいますと、「学校教育においては」中身、余分なものを取ってしまったから「推進します。」「学校教育においては推進します。」。掲げていない。理念だけになっておる。このあたり文章的なすっきりしないのかなど。これは、昨年もそのままだったのですね。理念と、その理念を具現化する事業と

が混在しているので、この文章になっているのだと思います。もし個々の事業を載せるのであれば最後の写真のところに「この活動の事業はここに写真を掲げています」というようなやり方でもいいのではないかと思います。

もう1つ2ページ目なのですが、基本方針1の④は、基本方針2に入るのではないかという捉え方をされるのではないかと思います。或いは、これを1つ出してもいいのではないかと思います。今の時代ですから基本方針の中に合理的配慮の提供を踏まえ、特支援教育の充実を図るということを引っ張り出してもいいのではないかと思います。かなり予算措置もして人の配置もしているので、個々に障害に応じた教育をしていますので。予算付けしておるようなところから政策的なところがあるので、その方がいいのではないかと。南あわじ市は、そういう子どもにも手厚い教育をやっているという意味合いもあると思うので。基本方針4と基本方針7ですが、7を4に入れ込めないですかね。政策的なことで、予算措置してエアコンを付けているので引っ張り出したいということは、わからなくはない。しかしながら、同じような文言が並んでいるので。ちょっと気づいたところは、そんなところですよ。

【狩野委員】 広田小学校の評議員もしているのですが、広田小学校の学校だよりをもらって、その中で、この前に配ってもらった「南あわじっ子に確かな学力を！」のリーフレットをいっぱい活用していました。何も点数にこだわる必要はないのですが、点数だけよくなったらいいいのかといえば、そうでもないもので、いろんな面でアプローチして、何とかそこらへんも重点的にも、それだけ書くというのは無理があるとおもうのですが、取組はしっかりとしてほしいと思っておりますので、よろしくお願いします。

【浅井教育長】 他に意見がないようですので、次に「平成29年度卒業式」について。事務局よりお願いします。

【山川課長】 (卒業式の割当について説明)

【浅井教育長】 次に、「教育委員会事務局職員の人事異動について」、事務局よりお願いします。

【山見課長】 (事務局の人事異動について説明)

【浅井教育長】 次に、「当面の行事予定について」に移ります。  
各課長から報告をお願いします。

(担当課長より順次説明)

【浅井教育長】 事務局の説明が終わりました。

ご質問、ご意見等ございませんか。

ないようですので、次に「教育委員会後援名義使用許可状況について」、事務局よ

りお願いします。

【山見課長】 (後援名義使用許可一覧表の説明)

【浅井教育長】 それでは、次に「その他」に移ります。何かございますか。

【浅井教育長】 特にないようですので、「その他」を終了します。

これもちまして、南あわじ市及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を閉会します。

閉 会 午前11時10分